

佐賀県「Sagan World Cup 2022」

2022年12月3日



参加者全員集合！

背景/課題

コロナ禍で佐賀県在住外国人は交流の機会が無かった。佐賀県国際交流協会と元サガン鳥栖通訳のJICAデスク佐賀推進員が、2022FIFAワールドカップに合わせてサッカーイベントを企画し、サガン鳥栖の運営会社である(株)サガン・ドリームスの協力を得て、フットサル大会を実施した。

目的

- 技能実習生や留学生などの佐賀県在住の外国人同士の交流および外国人と日本人の交流
- スポーツをする喜びや参加者や関係者の一体感の醸成

活動内容

- インターナショナルフットサル大会を開催
- 開催に当たって、スタジアムの確保、参加者募集、サガン鳥栖元選手への参加依頼、賞品準備、佐賀女子高校サッカー部と鳥栖高校書道部への協力依頼、ラジオ番組での大会の宣伝、イベントの振返り等の開催に向けた多岐に渡る手配や準備

成果

- JICAと佐賀県国際交流協会の主催で、Jリーグクラブの協力を得た多文化サッカー大会の開催は史上初！参加者がサッカーを楽しみながら交流できることが実証された。
- 全国60あるJリーグクラブには、各県デスクや国内拠点が中心となり同様のイベントを開催できる可能性を示した。
- 第2回大会(2023年)は第1回大会での反省を活かし、主催者・クラブ・自治体・参加者・地域に有益なイベントとして、多文化サッカー大会のムーブメントを作っていく予定である。